



立教大学

RIKKYO UNIVERSITY



トルコ系婚活女子、希望のタイプは
情熱的^{ホット}なドイツ男子^{ハンズ}——

辛口ソースの ハンズ ー



原作 ハティジェ・アキュン "Einmal Hans mit scharfer Soße" (2005) / 監督 ブケット・アラクシュ / 脚本 ルート・トーマ / 音楽 アリー・N・アスキソ /
カメラ ユタ・ポールマン / 出演 イディル・ユナー, アドナン・マラル, シール・エロール, セセデ・テルツィアンほか
2013年ドイツ/ドイツ語 (一部トルコ語) 音声・日本語字幕 / 96分 © 2013 Wüste Medien/NDR

11月16日 (木) 17:00 新座 8号館 N854 教室

11月21日 (火) 17:00 池袋 11号館 AB01 教室

観覧無料

渋谷哲也氏 (ドイツ映画研究・本作字幕) ムービートーク (21日のみ)

主催 全学共通カリキュラム運営センター/ドイツ語教育研究室

Einmal Hans mit scharfer Soße

辛口ソースのハンズー丁



ドイツの大都市ハンブルクでジャーナリストとして働くハティジェ。ドイツに住むトルコ系移民の家庭で生まれ育った彼女は、トルコの文化から距離を置こうとする一方で、心に宿るトルコの価値観を振り払いきれずにいる。その葛藤が一因となり、婚約するつもりだった恋人ともけんか別れしてしまう。

ハティジェが実家に帰ったある日、妹ファトマから妊娠を打ち明けられる。事が両親に知れる前に、一刻も早く結婚したいと言う妹。だが父イスマイルは、姉であるハティジェをさしおいて妹が先に結婚することを許さない。妹のためにも、自分が早く結婚相手を見つけなければ——。ケバブの辛口ソースのような情熱あるドイツ人男性を求めて苦闘と暴走を繰り返すハティジェの行方や如何に？ 複数の文化の豊かさを生きるトルコ系移民の日常を描くコメディ。



多くは望んでないの。ただ、そこそこいい人で、超イケメンで、ドイツ人で、トルコ人みたいに情熱的なら。

【キャスト】

ハティジェ イディル・ユナー
父イスマイル アンダン・マラル
母エミネ シール・エロール
妹ファトマ セセデ・テルツイアン
妹アブラ デメト・ギュル
弟ムスタファ フュサイン・エキジ
友人ユリア ユリア・ディーツェ
ハネス シュテファン・グロース
シュテファン ヤネク・リーケ

【スタッフ】

監督 ブケット・アラクシュ
脚本 ルート・トーマ
音楽 アリー・N・アスキン
カメラ ユタ・ポールマン
日本語字幕 渋谷哲也

【ムービートーク】11月21のみ特別企画！

渋谷哲也（本作日本語字幕担当）
東京国際大学国際関係学部教授。ドイツ映画研究。ドイツ映画の字幕翻訳および自主上映企画を手掛ける。著書に『ドイツ映画零年』（共和国、2015年）、『国境を超える現代ヨーロッパ映画 250』（共編著・河出書房新社、2015年）、『西洋近代の都市と芸術 5 ベルリン』（共著・竹林舎、2015年）、『ファスビンダー』（編共著・現代思潮新社、2005年）ほか。